

資料3－2

留萌音楽合宿誘致事業（旧：留萌音楽合宿誘致環境整備事業）

一般社団法人留萌青年会議所が実施する「音楽合宿」の取り組みに対し、平成29年度より夜間警備費用や合宿団体の会場使用料について行政支援を行い、音楽に特化した合宿事業を切り口に他地域から「ひと」を招き入れ、活力ある留萌を創造する。

【令和元年度事業実績（留萌市単独事業）】

1 事業費： 3,169,795円（予算額：3,170千円）

2 事業内容

(1) 音楽合宿実施に伴う宿泊時の夜間警備謝礼金及び会場使用料の行政支援

No.	団体名	参加人数 (うち随行)	実施期間	練習場所	宿泊先	決算額		
						夜間警備謝礼金	会場使用料	合計
1	北海学園大学	42名 (0名)	5/1～3 (2泊3日)	文化センター	港東コモン	0	162,840	162,840
2	旭川南高校	34名 (2名)	7/19～21 (2泊3日)	文化センター	中央公民館	68,000	309,670	377,670
3	上富良野中学校	37名 (2名)	7/25～27 (2泊3日)	文化センター	港西コモン	0	192,970	192,970
4	網走南ヶ丘高校	49名 (2名)	7/28～31 (3泊4日)	文化センター	中央公民館	102,000	403,557	505,557
5	旭川商業高校 (2回)	98名 (4名)	8/6～10 (4泊5日)	文化センター	中央公民館	136,000	906,496	1,042,496
		95名 (4名)	12/24～28 (4泊5日)	文化センター	中央公民館	136,000	266,267	402,267
6	黒岩真美門下生	13名 (0名)	9/21～23 (2泊3日)	文化センター	港西コモン	0	195,500	195,500
7	遠軽高校	72名 (3名)	11/20～22 (2泊3日)	スポーツセンター	中央公民館	68,000	179,295	247,295
計	7団体(8回)	440名 (17名)	延21泊29日			510,000	2,616,595	※ 3,169,795

※合計額にマットクリーニング代43,200円を含む

(2) 留萌市合宿誘致連携会議の設置

概要： 留萌市で行われる音楽合宿やスポーツ合宿等の誘致促進にあたり、関係者相互の連携及び調整を行う会議として設置。

3 重要業績評価指標(KPI)

指標	目標(R2)	実績(R1)	備考
音楽合宿による 延宿泊数	1,036泊 以上	1,315泊 (延)	

※参考(R1 スポーツ合宿)：バレーボール合宿(つくばユナイテッド・サンガイア) 16名×3泊4日

スポーツ合宿 6団体(旭川明成高校陸上部、芦別高校野球部、札幌南高校バスケ部、

藻岩高校バスケ部、札幌光星高校卓球部、江別中央中学校卓球部)

4 事業成果

交流人口増加を目指し平成26年度からスタートした音楽合宿誘致の取り組みは、令和元年度に延べ440名の学生を迎え、延べ宿泊数は1,315泊と、過去最大の人数となった。

また、効果として留萌市における新たな交流人口増加の機会の可能性を広げるとともに、地域にある既存施設の利活用、地域コミュニティの再生（町内会などの支援）、地域経済の活性化（宿泊に伴う衣食住、移動経費など）、青少年健全育成という4つの大きな効果を生み、更には、合宿参加校（旭川商業高等学校）から留萌市へこれまで5名が就職している。

○参加学校数と人数の推移

年度	参加団体(延回数)	参加者数(延宿泊数)
H26	1校 (1回)	80名(240泊)
H27	2校 (3回)	243名(771泊)
H28	5校 (7回)	435名(1,171泊)
H29	6校 (7回)	413名(1,109泊)
H30	4校 (6回)	323名(1,036泊)
R1	7団体 (8回)	440名(1,315泊)

○参加市民団体数

年度	参加市民団体
H26	浜中町内会
H27	幌糠町内会、五十嵐町内会
H28	幌糠町内会、五十嵐町内会、大町1, 2丁目振興会、黄金団地親睦会、瀬越町親睦会、幸友会、錦町2丁目町内会、女性ネットワーカー、国際ソロ・ミタ留萌、NPO法人留萌観光協会、留萌高校吹奏楽部父母会、留萌高校吹奏楽部OB会、留萌青少年健全育成推進協議会、留萌商工会議所青年部、留萌市法人会女性部、留萌市民等
H29	港西コミュニティセンター運営協議会、NPO法人留萌観光協会、港東コミュニティセンター運営協議会、五十嵐町内会、留萌青少年健全育成推進協議会、留萌市民等
H30	港西コミュニティセンター運営協議会、NPO法人留萌観光協会、港東コミュニティセンター運営協議会、五十嵐町内会、留萌青少年健全育成推進協議会、音楽合宿パート、留萌市民等
R1	港西コミュニティセンター運営協議会、NPO法人留萌観光協会、港東コミュニティセンター運営協議会、五十嵐町内会、留萌青少年健全育成推進協議会、音楽合宿パート、留萌市民等

5 現状と課題

令和元年度においては、平成29年度から開始した行政支援に加え、平成30年度に採用した音楽分野専門の地域おこし協力隊員を中心とした、市内小中高の吹奏楽部や合宿参加団体への指導支援、道内外の吹奏楽強豪団体への周知など、実施主体である留萌青年会議所をバックアップする取り組みを行ったところである。

持続可能な受け入れ体制が大きな課題となっているが、平成30年度より留萌青年会議所において音楽合宿の活動を支援する『音楽サポーター制度』を構築し、本事業に係る支援人材の拡大に取り組んでおり、市内吹奏楽部OB・OGを中心に、現在60名の登録となっている。

会場占有により公民館等の市民利用が制限されるなど、継続した課題はあるものの、地域住民が主体となって市民力を巻き込んだ、交流人口の受入拡大や関係人口の構築、さらには後年度において留萌への移住に繋がるなど、成果を挙げている事業であるため、合宿誘致連携会議の中で、留萌青年会議所、留萌スポーツ協会等との連携により「音楽合宿のまち」としての持続可能な事業として展開していく。

6 今後の展望（令和2年度における取組予定など）

(1) 事業概要

音楽合宿のまち「るもい」事業（合宿受け入れ分）予算額 3,603 千円

①謝礼金（深夜施設管理人件費）408 千円（@1,700 円×10 h×2 名×12 日）

②役務費（マットクリーニング代）44 千円（@400 円×100 枚×1.1）

③使用料及び賃借料（練習会場及び備品使用料）3,151 千円（実績より積算）

④今後の展望と期待

市民団体が主導し手づくりの誘致活動を展開する音楽合宿事業について、参加団体の負担軽減を図るため、会場使用料等に対する支援を行うことにより、市民が音楽にふれあい、合宿を受け入れるおもてなしの心の醸成や、新しい人の流れを「縁」につなげ、交流人口の拡大や、将来の移住、定住に繋げるための未来への投資として期待する。

(2) 受入状況

令和2年度当初は8団体の受け入れを予定していたが、新型コロナウイルスの影響により大半が中止となっており、現在1～2団体程度の受け入れを想定している。

No.	団体名	参加人数	実施期間	練習場所	宿泊先	備考
1	黒岩真美門下生	13名	9/20～22 (2泊3日)	文化センター	港西コミセン	
2	旭川商業高校	90名程度	12月下旬 3～4泊程度	文化センター	中央公民館	実施について検討中

